



インターネット版 第 6 号（総第 12 号）

2006 September

目 次 contents

- 巻 頭 言 ひとつのノスタルジー、または中央階段の彼方へ
附属図書館長 亀山 郁夫
- 特 集 論文を探してみよう！～CiNii（サイニイ）の使い方～
附属図書館雑誌情報係
- 随 筆 アフリカ・モザンビーク共和国アーカイブ事情
本学講師 舩田クラーセンさやか
- 貴重書紹介 『17～19 世紀における西洋と非西洋世界との出会いー
21 世紀 COE「史資料ハブ地域文化研究拠点」貴重書展』に寄せて
本学教授；拠点リーダー 藤井 毅
- 図書館からのお知らせ
図書館講演会、貴重書展、オリエンテーション&ガイダンス開催のお知らせ
- 図書館活動日誌（平成 18 年 4 月～9 月）
- 図書館統計（平成 18 年 3 月～8 月）
- 編集後記

ひとつのノスタルジー、または中央階段の彼方へ

附属図書館長 亀山 郁夫

今年8月に行われたオープンキャンパスの際、3,000人を越える来場者の3分の1近くが、本図書館にも足を運んでくれたと聞いてとてもうれしかった。府中キャンパス最大の「見どころ」であり、ユビキタス・キャンパスのシンボリック存在ともいえる本図書館は、現にそこに学ぶ学生や働く人々にとって大きな誇りである。わたしは今も、2階から4階へまっすぐ伸びる中央階段を上るとき、ふとそうした晴々とした誇りを感じるのだが、しかしその誇りは、どこか宇宙の彼方へと向かう階段を登るようなファンタスティックな感覚を伴っている。その感覚をどこまで共有していただけるかわからないが、オープンキャンパスの参加者にもぜひそれを追体験してもらいたい、というひそかな期待があった。

個人的な話になるが、わたしはこの中央階段のイメージになぜか妙なこだわりを持っている。モスクワの都心にある国立図書館、旧レーニン図書館がそもそもの発端らしい。はるか22年前の1984年、わたしは、約6ヶ月間にわたる在外研修の期間中、「レーニンカ」の愛称で親しまれるこの図書館に通いつめた。正面広場には文豪ドストエフスキーの像があって、大理石の柱が何本も立ちならぶファサードを見ると、思わず、若い時代のソヴィエトのやる気を思い起こしたものだ。その思いは、玄関ホール中央の幅十メートルほどもある大理石の階段を上るときにますます強くなった。1984年のモスクワは、ペレストロイカ前ののどかな空気に包まれていたが、一般閲覧室にあたるホール3の巨大な空間に

ひしめく市民たちを見ると、わけもなく熱い感動がこみ上げてきたものだった。

ところが、ソヴィエトを誇るこの図書館は、それこそ社会主義の旧弊を絵に描いたような場所でもあった。貸出システムや一時退出時に伴う面倒、コピーサービスの悪さ、食堂やトイレの不潔さなど、西側の人々には想像もつかない不条理さが満ちていた。もっとも、その不条理さは、そこに学び、そこに働く人々にとってはそれなりに自動化された仕組みであったことはいうまでもないことだ。

だが、わたしにとってこの図書館の思い出は、中央階段のいたるところにできたへこみに尽きている。わずか50年の歴史のなかでのこのへこみはどうみても異様だった。むしろそれは、そこを訪れる人々の重みで生まれたものだし、この大図書館が、社会主義の知的エネルギーを貪欲に吸い込んできた証のようなものでもある。それから7年後、社会主義ソヴィエトは消滅した。では、そこで吸い取られた熱ははたしてどこへ消えたのか。それらはすべて無と帰してしまったか。

そこでふとわたしたちの中央階段が思い浮かぶ。靴音も吸い込むこの美しい木のきざしは、いつの日にもその知的エネルギーの証を誇ることができるようになるのか。学生諸君にお願いしよう。4階のコンピュータコーナーを利用する際などは、できるだけエレベータを使わず、この中央階段を一段ずつ踏みしめ、宇宙につながる何かを感じとってほしい。そして周囲に林立する書物たちを一瞥してほしい。

特集

論文を探してみよう！

～ CiNii (サイニ) の使い方 ～

附属図書館雑誌情報係

CiNii は国立情報学研究所（NII）が提供する論文情報ナビゲータで、日本の学術論文情報を検索の対象とするデータベース・サービスです。学会・協会誌、大学紀要のほか、国立国会図書館雑誌記事索引などのデータベースが統合されています。一部の論文は本文の閲覧も可能です。また、論文の引用・被引用関係をたどることもできます。

(図1) CiNii トップ画面 <http://ci.nii.ac.jp/cinii/servlet/CiNiiTop>

The screenshot shows the CiNii homepage in a Microsoft Internet Explorer browser. The page has a blue header with the CiNii logo and navigation links. The main content area is divided into two sections: '簡易検索' (Simple Search) and '詳細検索' (Advanced Search). The '簡易検索' section has a search bar and buttons for '検索' (Search) and 'クリア' (Clear). The '詳細検索' section has a search bar and buttons for '検索' (Search) and 'クリア' (Clear). Below the search bar, there are four rows of search criteria: '著者名' (Author Name), '論文名' (Article Name), '雑誌名' (Journal Name), and 'ISSN'. Each row has a dropdown menu for the search type and a text input field for the search term. To the right of each row is a button for 'すべて含む' (Include all). At the bottom of the '詳細検索' section is a button for 'エリアの追加' (Add area). The sidebar on the left contains links for 'ログイン' (Login), '新規登録' (New Registration), 'サービス案内' (Service Guide), and a list of search criteria: 'CiNii', 'SCI/SSCI/A&HCI', 'CiNii+SCI/SSCI/A&HCI', and 'NII-ELS 収録誌一覧リストダウンロード'.

検索方法について

- 簡易検索：入力した文字列（キーワード）が論文情報（引用情報を除く）のどこかに記述されているレコードを探します。キーワードを空白スペースで区切ることで、AND 検索となります。

(図2) 入力例:「英語」「言語教育」「大学」

The screenshot shows the '簡易検索' (Simple Search) section of the CiNii homepage. The search bar contains the text '英語 言語教育 大学'. The '表示件数' (Number of items to display) is set to 25, and the '表示順' (Display order) is set to '出版年(新しい順)' (Publication year (newest first)). The '検索' (Search) button is highlighted.

特集：論文を探してみよう！～CiNii の使い方～

- 詳細検索**：項目に対して検索語を指定し、複数の検索条件で論理演算を行い、詳細に絞り込んだ検索を可能にします。

(図3)入力例：著者名フィールド「服部四郎」 論文名フィールド「日本語 起源」

詳細検索		
表示件数:	表示順:	
25	出版年(新しい順)	検索 クリア
検索対象	検索語	検索語の組合せ
著者名	服部四郎	すべて含む
AND	論文名	すべて含む
	日本語 起源	
AND	雑誌名	すべて含む

「検索結果」の見方について

(図4)検索結果表示例：簡易検索で「東京外国語大学」と入力した場合(2006.8.25 現在)

検索結果: 該当件数は6507件です。1～25件を表示。 最初のページ 前の25件へ 1 2 3 4 5 次の25件へ 最終ページ

検索条件: 簡易検索(東京外国語大学) ↓プルダウンメニューから項目を指定し、単語を入力することで絞り込み検索が可能です。

絞り込み

新規検索

表示順[出版年(新しい順 / 古い順) | 著者名順 | 雑誌名順 | citings件数順]

1. [40007237929]
21世紀 COE道場-最先端研究を歩く(9)東京外国語大学-非収奪型の資料センター
論座 236～239,2006/6(朝日新聞社)
■収録データベース: NDL
■本文リンク等: なし ■文献書誌・引用情報 references:未登録 citings:0件

2. [110004710122]伊藤, 慎宣; 馬田, 一郎; 鈴木, 紀子; 岩澤, 昭一郎; 神谷, 俊郎; 鳥山, 朋二; 間瀬, 健二; 小暮, 潔
共同作業時の身体動作と視線運動に関する考察(UBIS:インタラクション・ユーザ支援)
情報処理学会研究報告. MBL, [モバイルコンピューティング] 2006(14),185-190,20060216(ISSN 09196072) (社団法人情報処理学会)
■収録データベース: NII-ELIS ② ③ ④ ⑤
① ■本文リンク等: あり ■文献書誌・引用情報 abstract references:未登録 citings:0件

●項目説明

- ①本文リンク等: 本文へのリンクの有無を表します。一部、有料公開のものもあります。
- ②文献書誌・引用情報: 論文に関する詳細情報へのリンクです。次項でご説明します。
- ③abstract: 論文の抄録を閲覧することができる場合に表示されます。
- ④references: この論文が引用している論文の件数を表します。
- ⑤citings: この論文を引用している論文の件数を表します。

！注意！ この先の情報をみるためには、学内 LAN からの接続、もしくは個人 ID を取得してログインする必要があります。

「文献書誌・引用情報」の見方について

(図5) 文献書誌・引用情報表示例

本文へのリンクがある場合に表示されます。有料公開の雑誌は学内 LAN から参照できません。ご注意ください。

この表示がある場合には、Webcat Plus の詳細表示画面から、所蔵図書館の一覧を参照することができます。

←タブをクリックすることで、それぞれの情報を表示することができます。

本文の表示方法について

(図6) 「本文リンクあり」から本文表示までの流れ

「検索結果」や「文献書誌・引用情報」画面の「本文リンクあり」をクリックすると、左図のような画面がポップアップします。さらに「本文」をクリックすると、下図のような画面が新たに表示されます。
 ※ポップアップウィンドウの表示ロックを解除しておく必要があります。
 ※有料公開雑誌の場合は、有料の旨を表示した画面がポップアップします。

このリンクをクリックすると本文画面に遷移します。
 ※CiNii から閲覧できる論文本文は PDF 形式のため、Adobe Reader をインストールしておく必要があります。

雑誌の所蔵情報の見方について

本文リンクの表示がない場合や、有料で閲覧できない場合には「文献書誌・引用情報」画面から Webcat Plus へのリンクを活用して所蔵している図書館を調べることができます。

(図7) WebcatPlus「雑誌情報」から「所蔵図書館一覧」への遷移

Figure 7 shows the Webcat Plus interface. On the left, the '雑誌情報' (Magazine Information) section for '東南アジア研究' (Southeast Asian Studies) is displayed. A red circle highlights the '所蔵図書館 316 館' (Library List 316 Libraries) link. A red arrow points from this link to the right-hand screenshot. The right-hand screenshot shows the '所蔵図書館一覧' (Library List) page, which lists the libraries and their holdings for the same journal. A red box on the left contains instructions: 「文献書誌・引用情報」画面にある Webcat Plus ボタンをクリックすると、「雑誌情報」(上図) がポップアップし、「所蔵図書館」をクリックすると、「所蔵図書館一覧」(右図) へ遷移します。

所蔵図書館	316 館	巻号<通し年月次>
アジ研	1-42-43<1963-1964;1964-2005>+	
フェリス	1-42-40,41(1-2)<1963-1964;1964-2003>+	
亜大	1-42-31<1963-1964;1964-1994>	
愛院大	1-42-42<1963-1964;1964-2005>+	
愛淑大	34-43<1996-2006>+	

(図8) 所蔵図書館と巻号<通し年月次>表示の拡大図

Figure 8 is an expanded view of the library list. It shows a table with columns for the library name, the volume/year/issue information, and a plus sign indicating further information is available. A red box on the left contains instructions: 所蔵図書館は略称名で記載されています。リンクをクリックすると正式名称や利用条件等の詳細情報画面に遷移します。※当館は「東外大」と表記されています。なお、所蔵状況は、1～2 巻はなく、3 巻は 3～5 号のみ、4 巻から欠号なく所蔵しており、現在も継続して受け入れていることになります。

島大		
東院大		
東海大湘南 11		
東外大	遡及2	3(3-5),4-43,44(1)<1965-2006>+
東学大 地域		30-42,43(1)<1992-2005>+
東学大 図雑		23-34,35(1-3),36-42,43(1)<1985-2005>+
東京国際大1		1-4,2-40,41(1-3)<1963-1964;1964-2003>

A red box on the right contains instructions: 括弧の後に+(プラス)マークがない場合は、表示された後の巻号は受け入れしていないことを意味します。

最後に・・・

当館で所蔵していない場合でも、いままでの検索等で得られた文献書誌・引用情報や所蔵情報を基にして、所蔵する大学図書館等を訪問したり、相互利用サービスに基づく複写取り寄せサービスを申請したりする方法でお探しの論文を入手することができます。手続き等については、図書館カウンターにてご相談ください。

なお CiNii の詳しい検索・利用方法については、CiNii のヘルプをご覧ください。図書館カウンターまでお問い合わせください。

アフリカ・モザンビーク共和国アーカイブ事情

本学外国語学部講師 船田クラーセンさやか

暗く、湿って、匂っている。それが、アフリカ南東部に位置するモザンビークのアーカイブの印象である。これは、長年通ったモザンビーク国立歴史公文書館（Arquivo Histórico de Moçambique）の印象があまりに強いからだろうか。あるいは読んでいる植民地行政文書の性質から来ている印象だろうか。

1975年に独立したモザンビークの植民地行政文書の多くは、14階建てビルの地上階と地階に眠っている。植民地期に建てられたこのビルに何人の住民が暮らしているのかは定かではないが、上の階の汚水が漏れ出し、公文書館の天井、床に染み出てきたのは90年代半ば。私が公文書館に通い始めた1997年には、既に床はバケツと雑巾でいっぱい状態であった。大学施設である公文書館には国の予算がつかず、2005年にはついに最悪の事態を迎え、多くの文書が失われてしまった。

英国とは異なり、本国ですら行政文書の収集や体系的な整理をほとんど行っていなかったポルトガル領植民地では、独立が本国での革命（1974年）という形で達成されたこともあり、行政文書の移管はスムーズにはいかなかった。革命から独立までの移行期（1974年4月～75年6月）には、前政権関係者によって多くの文書が持ち去られ、破棄されるなどした。中には、植民地省からの指示で、組織的に破棄された文書も多かった。モザンビークの秘密警察文書に至っては、警察本部の建物が放火され、すべての文書が焼失したほどである。

植民地文書を破棄したのは、植民地権力関係者だけではなかった。独立直後、植民地解放の

ために戦った解放軍司令官らが、「植民地行政の遺物＝悪」と叫び、各地方行政政府の文書を引っ張り出しては燃やしたという。歴史史料の危機を目の当たりにしたモザンビーク唯一の国立大学であるエドワルド・モンドラーネ大学の歴史学部関係者らが、1977年に全国をめぐって集めた文書が現在の国立文書館の史料の多くを構成している。この結果、同文書館は同国立大学に帰属することとなったのである。

しかし、先述のとおり、同文書館史料は物理的に危機的状態にあるばかりではなく、インデックスなどの不備から、どのような史料があるのか不明のまま放置されている。文字通り「生き字引」のような古株館員と元ディレクターの記憶と勘に頼ってのみ、詳細にわたるリサーチが可能なのである。これらのことがモザンビーク史研究に多大な限界を与えていることは間違いない。

さて、薄暗く「iほのかに」匂う小部屋で、物理的に湿った崩壊寸前の文書のページを捲りながら読む文書の内容も、限りなく出口のないようなものが多い。同じポルトガル人の行政官ですら、驚くような惨状の報告が延々と続く。暗い。湿っている。匂っている。

平均寿命が40歳にすぎない同国では、現在植民地時代の記憶は急速に失われつつある。支配者側の記録という限界はあるものの、数少ない書かれた記録である植民地文書の遺失は、歴史の喪失をも意味している。汚水で歴史の汚点を流し去る…わけにはいかないのだ。かといって、私に何ができるか。今年も悶々とした日々をアーカイブで過ごす予定である。

『17～19 世紀における西洋と非西洋世界との出会いー
21 世紀 COE「史資料ハブ地域文化研究拠点」貴重書展』に寄せて

本学外国語学部教授；拠点リーダー 藤 井 毅

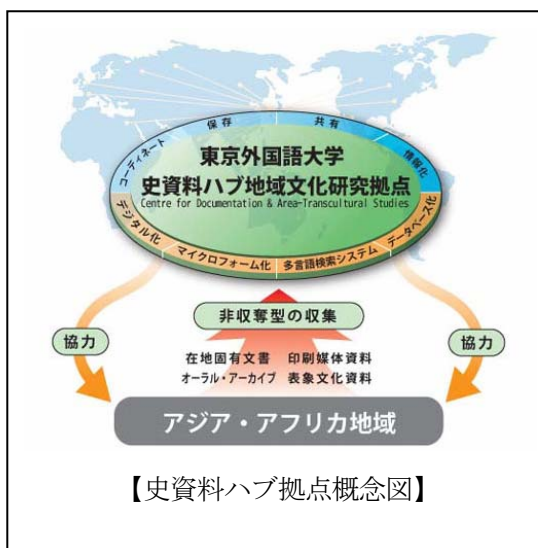
21 世紀 COE「史資料ハブ地域文化研究拠点」が開設されたのは、2002 年 10 月のことです。この事業は、5 年計画で開始されたので、本年度は、その成果を取り纏めねばならない最終年度にあたります。

私たちの拠点は、アジア・アフリカの各地で顧みられることなく放置され、消滅の危機に瀕する史資料を人類史上の遺産として位置付け、それらを国際的な連携のもとでデジタル化・マイクロフォーム化し、保存と共有を図ることを目指しています。その対象となる史資料は、在地社会で保持されてきた固有文書にはじまり、各種の印刷刊本、そして、オーラル資料や表象文化資料にまで及びます。

私たちが今日に至るまで展開してきた活動は、人文系の大学が自前で行いうる国際協力のモデルとなりえたと確信していますが、それは本学が保有する有形無形の資源があって、初めて可能となったものです。

私たちが掲げた目標は、換言すれば、本邦において未だ存在しないアジア・アフリカの諸言語文献に特化した中核的史資料センターを構築するというものです。アジアとの関係重視を謳いつつ戦後の時を歩んできた我が国にとって、また、地域研究という手法を受容してから半世紀を経た今日において、そうした機関の不在は、やはり重大であると言わざるをえません。しかしながら、その空白をかつて植民地宗主国が行ったような史資料の収奪によって埋めるべきではないことは、言う

までもありません。私たちが目指すのは、あくまでも、史資料の非収奪型収集と情報化による保存と共有なのです。



近年、大学を取り巻く状況には大きな変化が生じましたが、人文系の大学においては、図書館を中核とする情報基盤を如何にして充実させるのかが、未だに変わらざる課題であると考えます。本邦や本学を日本語と日本を学ぶために留学生が訪れるのは当然としても、今後は、わけても本学が、アジア・アフリカ地域研究を志す世界の学生にとって、魅力的な場となることが求められるのでしょう。私たちの活動は、そのための、ささやかではあるものの、確固たる意志に基づいた試みなのです。

私たちは、こうした目標の達成のために、研究者と図書館司書、そしてアーキビストの連携を謳ってきました。4 年に及ぶ活動の経験よりすると、そこには修復専門家を加えて

おくべきだったことが分かりましたが、それは、次の課題です。

一連の拠点事業により、最終的には図書 2 万 5 千点余、マイクロフォーム・デジタルデータ 4 万点余が招来されることになります。そのいずれもが、本邦における史資料収蔵状況に照らし合わせて選択されたものです。結果として、そのなかには、1850 年以前に刊行された貴重書 100 点余が含まれることになりました。私たちは、それを占有することなく、予算の許す範囲内でデジタル化し、拠点が構築したデジタルライブラリー/アーカイヴズ (Dilins: <http://www.dilins.c-dats.tufts.ac.jp/>) において、全文画像情報を世界に向けて公開してきました。今回、附属図書館と協働して展示するのは、そのなかでも、我が国においては本学のみが架蔵する特に稀少性の高い図書の数々です。

選書にあたっては、一つに、西洋と非西洋世界との出会いや自己認識と一体となった他者認識の有様を伝える旅行記類、二つに、アジア諸言語の初期テキスト類、三つに、遠隔の地に赴いたキリスト教宣教師が残した文献を中心に据えることにしました。

一つ目のグループのなかには、ヨーロッパの人々が、アジア、わけてもペルシアやインドにおいて、キリスト教にあらざる宗教信仰と出会ったときに如何なる反応を示したのかを窺うことができる図書数点が含まれます。いずれも、17 世紀と 18 世紀の刊行物です。次に目を引くのが、原典に依拠したペルシャ・インド研究に先鞭を付けたアンクティル・デュペロンの著作『ゼンド・アヴェスター』(1771 年刊) と『ウプネカト』(1801 年刊) です。前者は、ゾロアスター教研究の出発点に

位置し、後者は、西洋人によるインド哲学研究の始まりを告げた本の一つとされます。因みに、本学附属図書館は、本邦においてデュペロンの主要著作を最も良好に架蔵するところ です。

二つ目のグループのなかで特筆すべきものは、イギリス東インド会社政府が、ヨーロッパ人子弟を対象とする高等教育機関として、1800 年にカルカッタに設立した「フォート・ウィリヤム・カレッジ」で、インド諸語教育のための教科書として使われた本です。ラッルー・ラール著『ブラジ・バーシャー文法』(1811 年刊)がそれです。参考のために、同じ著者による『スィンハーサンバッティースィー (獅子座三十二話)』(1805 年刊) と『プレーム・サーガル (愛の大海)』英訳本(1851 年刊)を展示します。あわせて、明治末期より昭和戦前期にかけて本邦で刊行された語学書のなかより、稀少性の極めて高いものを陳列します。

三つ目のグループの宣教師たちは、聖書のアジア・アフリカ諸言語への翻訳を使命としていましたので、宣教師団の刊行物は、単にアジア諸地域の出版史・印刷史・文字史にとどまらず、言語研究史や言語教育史においても重要な位置を占めています。19 世紀初頭、インドのベンガル地方にあったデンマーク領シュリーラームプル(当時の英語綴りで Serampore)に赴いたバプティスト派宣教師団を始めとする諸団体は、トラクツ Tracts と総称された数多くの小冊子を刊行しました。その大半が、布教活動のなかで無償配布されたため、図書館に収蔵されることもなく、現在では実物を手にすることがほとんど能わないほど稀少なものとなってしまいました。今

回展示するのは、そうした 10 数点のトラク
ツです。さらに、アジア諸地域における出版
史へと視野を広げてゆくために、製紙技術史
や印刷史に関する図書も展示することにしま
した。

かつては、こうした貴重書の所蔵を誇りさ
えすれば事足りたのですが、史資料の非
収奪型収集と情報化による保存と共有を理念
とする限り、そこにとどまっているわけには

いきません。今回展示した貴重書は、全てデ
ジタル化し公開する予定です。そして、それ
らは、ひとり本学関係者にとどまらず、世界
中の人々の利用にも供され、原典に基づいた
研究を保証するものとなるのです。私たちは、
拠点事業の目標として「地域文化の生成と変
容に関わる研究」を掲げていますが、それは、
こうした開かれた基盤があつてこそ、意味を
持つに違いありません。

【編集注】

- 本文中にタイトルの明記された資料の請求記号をお知らせします。
興味のある方は、附属図書館 2 階カウンターまでお問い合わせください。
※すべて貴重図書につき、出納が必要です。

タイトル	請求記号	備考
『ゼンド・アヴェスター』	HUB/N/595751/1-1, 1-2, 2	3 冊もの
『ウプネカト』	HUB/V/531383/1, 2	2 冊もの
『ブラジ・バーシャー文法』	HUB/I2/599578	
『スィンハーサンパッティ スィー（獅子座三十二話）』	I2/9I2-9/506829	
『プレーム・サーガル（愛の大海）』	K/9I2-8/L199	英訳本

- 本稿にてご紹介いただきました資料を展示する貴重書展の開催期間等につきましては、
次ページの「図書館からのお知らせ」に掲載されております。

図書館からのお知らせ

図書館講演会並びに貴重書展のお知らせ

附属図書館では、平成 12 年度から公開講演会を図書館事業の一環として行っております。今年度は、作家の加賀乙彦（かが おとひこ）氏をお招きして、下記の要領で行います。

また、同時期に 21 世紀 COE「史資料ハブ地域文化研究拠点」が収集した図書資料による貴重書展示会も開催いたします。

市民の方々をはじめ、どなたでも入場できますので、多数の皆様のご来場をお待ちしております。

<講演会>

タイトル：『現代と私の文学』

講演者：加賀乙彦氏

日時：平成 18 年 10 月 31 日（火） 18 時 15 分～20 時 00 分

会場：東京外国語大学 研究講義棟 1 階 115 教室

事前申込：不要

入場料：無料

（講演者略歴）作家、精神科医。本名 小木貞孝（こぎ さだたか）。1929 年、東京都三田生まれ。53 年東京大学医学部卒。55 年から東京拘置所医務部技官。57 年フランス留学。パリ大学サンタンヌ病院等に勤務し、60 年帰国。同年医学博士号取得。東京大学附属病院精神科助手を経て東京医科歯科大学助教授、69 年から上智大学教授。66 年滞仏経験に取材した小説『フランドルの冬』が太宰治賞次席、長編に書き改めて 68 年芸術選奨新人賞受賞。73 年『帰らざる夏』で谷崎潤一郎賞、79 年『宣告』で日本文学大賞、86 年『湿原』で大佛次郎賞、98 年『永遠の都』で芸術選奨文部大臣賞をそれぞれ受賞。79 年に上智大学を退職し、それ以降文筆活動に専念。重厚な長編作家として知られ、評論や学術論文の著作もある。87 年に 58 歳でカトリック受洗。

最新刊に、『小説家が読むドストエフスキー』（集英社、2006. 1）、『悪魔のささやき』（集英社、2006. 8）がある。

<貴重書展示会>

タイトル：『17～19 世紀における西洋と非西洋世界との出会い

—21 世紀 COE「史資料ハブ地域文化研究拠点」貴重書展』

日時：平成 18 年 10 月 30 日（月）～11 月 24 日（金）

9 時 00 分～21 時 45 分

ただし、土曜日は 9 時 30 分～16 時 45 分、

日曜日・祝日は休館

会場：東京外国語大学 附属図書館 1 階展示コーナー

[お問い合わせ先]

東京外国語大学 附属図書館総務係

電話 042-330-5193

e-mail tosho-soumu@tufs.ac.jp

オリエンテーション&ガイダンス開催のお知らせ

附属図書館では、10月に後期から編入される方を対象にしたオリエンテーションやレポートや卒業論文の作成に有益な情報検索ガイダンスを開催致します。この機会に図書館の使い方を身につけ、自分の文献収集ツールを増やしませんか？

日程や実施内容などの詳細は、館内の掲示及びホームページ等でご確認ください。



附属図書館では、情報検索ガイダンスを開催します。各サービス提供元派遣の講師によるプログラムが充実しています。

この機会に、卒論・レポートの文献収集に有用なインターネット上の検索ツールを味方につけてみませんか？

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

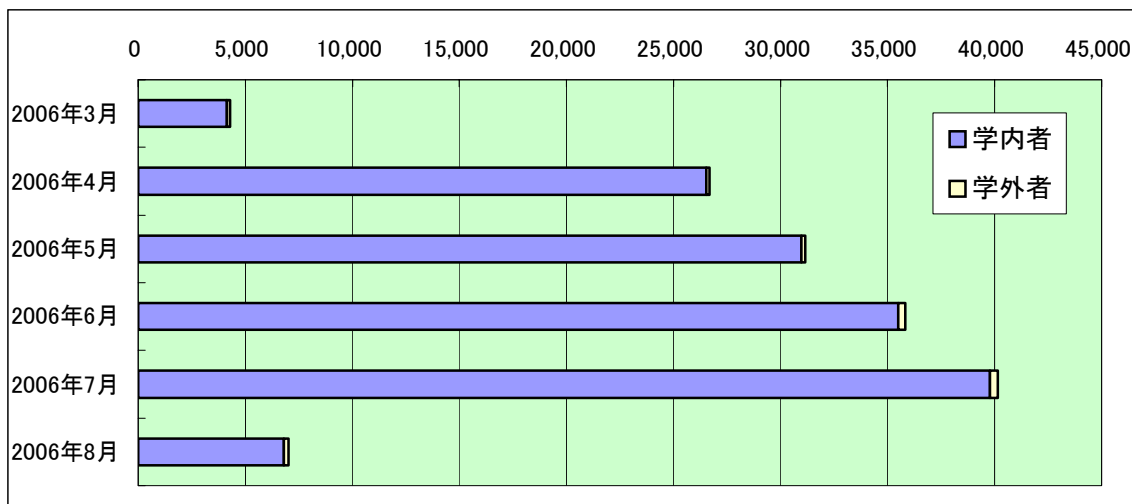
図書館活動日誌

(平成18年4月～平成18年9月)

- 4月 6日 入学式(館報「カスタリア」等配布)
- 4月12日 図書館オリエンテーション(全10回 ～4月25日)
- 4月13日 図書館トップページ更新
- 4月21日 国立大学図書館協会東京地区協会総会 2名参加(於 お茶の水女子大学)
- 5月 1日 国立情報学研究所遡及入力事業による「アラビア文字資料」「デーヴァナーガリー文字資料」遡及入力開始
- 5月 1日 「The Encyclopaedia of Islam Online」の提供開始
- 5月10日 利用者ガイダンス(全6回 ～5月17日)
- 6月 6日 平成18年度情報リテラシー科目附属図書館担当分「情報検索演習」
(6月8日、13日、15日の計4日間)
- 6月 7日 平成18年度第1回図書館委員会
- 6月21日 平成18年度第1回選書委員会
- 6月29日 第53回国立大学図書館協会総会 2名参加(於 学術総合センター)
- 7月18日 Gale Virtual Reference Library による電子ブックサービス開始
- 7月26日 平成18年度第2回選書委員会
- 8月 1日 NII 次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業(機関リポジトリ構築・運用事業)の業務開始
- 8月 3日 「Index Islamicus on CD-ROM」の提供開始
- 8月10日 「Oxford Journals Online Archive Full Collection」の提供開始

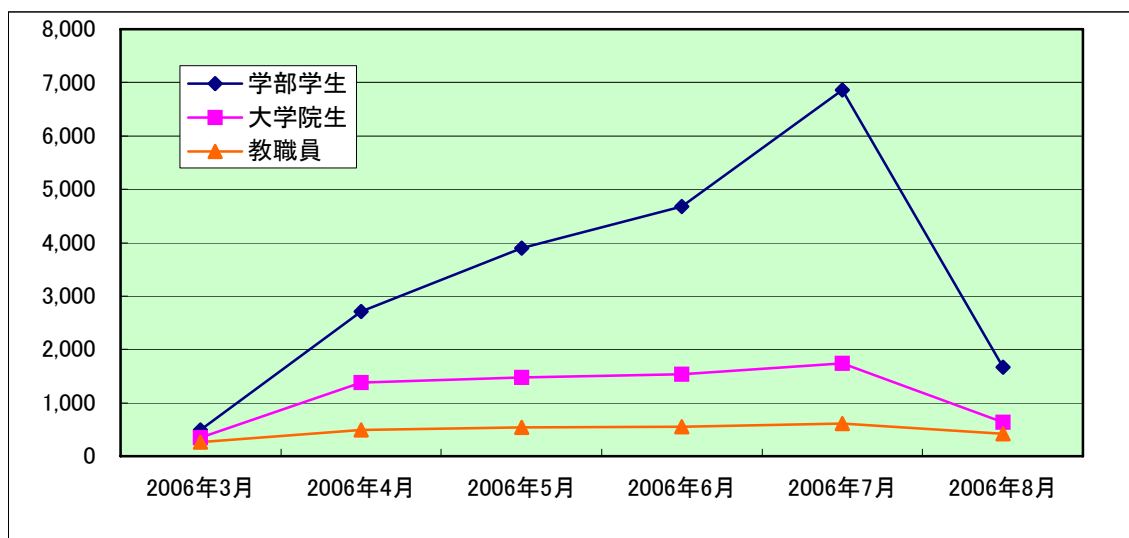
図書館統計

月別入館者数統計



	2006 年 3 月	2006 年 4 月	2006 年 5 月	2006 年 6 月	2006 年 7 月	2006 年 8 月
学内者	4,147	26,520	30,963	35,498	39,794	6,795
学外者	126	165	192	336	355	229
合 計	4,273	26,685	31,155	35,834	40,149	7,024

貸出冊数統計



	2006 年 3 月	2006 年 4 月	2006 年 5 月	2006 年 6 月	2006 年 7 月	2006 年 8 月
学部学生	494	2,706	3,896	4,682	6,855	1,669
大学院生	349	1,384	1,471	1,535	1,738	641
教 職 員	268	497	534	554	606	415
合 計	1,111	4,587	5,901	6,771	9,199	2,725

編 集 後 記

- 3月末にベテランの方が職場を去り、4月には6年ぶりに新人さんが着任しました。月日と同じように人も、来ては去り、去っては来るということを、しみじみと実感しました。自分が去るときにも、誰か（特にいい人）がきてくれるといいのですが。（千葉）
- 亀山先生の手書された館長巻頭言を読んで、中央階段が大きくすりへるくらいに人々に利用された図書館というものがたいへんうらやましく感じられました。この図書館もみなさんによく利用され、活用されればと思います。（吉田）
- 図書館2階出入り口付近が禁煙になり、吸い殻入れが撤去されました。でもまだ、その場所で喫煙して、その吸い殻をポイ捨てする人達があります。その後始末が大変で、まるでいたちごっこです。喫煙のマナーを守ってください。ますます肩身が狭くなっている愛煙家の私からのお願いです。（高杉）
- 学生時代には、多分に見栄も手伝って、よく本を買った。そのうちの多くは大学を卒業し、部屋を引き払う際、ほとんど何の愛着もなく古本屋に売ってしまった。図書館に勤めていると、それらと同じ本たちに出会うことがある。何を残し、何を手放すか、その選択と決断に日々対峙していく。（上田）

Castalia：東京外国語大学附属図書館報 第12号：インターネット版 第6号

<http://www.tufs.ac.jp/common/library/gaiyo/kanpo/castalia-12.pdf>

2006年9月30日発行

発行：東京外国語大学附属図書館

〒183-8534

東京都府中市朝日町3-11-1

(TEL) 042-330-5193

(FAX) 042-330-5199

ホームページ：

<http://www.tufs.ac.jp/common/library/index-j.html>

編集 発行人 木村優

編 集 長 高杉泰穂

編 集 委 員 上田誠治

千葉亜紀子

吉田恵理

